



場 役 所 会 社
行 刷 株 式
村 刷 印 刷
東 印 刷
瀧 北 洋 印

十一月のメモより

一、第二室戸台風に関する件

(一)臨時村議会

十一月十四日、災害に関する件につき協議願いたく、臨時村議会を開いて貰って、次の件につき議決していただきました。

(二)減税条令の議定

災害を甚だしく受けられた方に対し、村民税、固定資産税、国民健康保険税の減税の条令の議定をしていただきましたので、直ちにその実施をいたします。(別項参照)

(三)応急仮設住宅並に応急修理費の一時立替の件

先きに報告いたしました二件に關する経費は一時村で立換して支払わねばなりませんので、それに要する費用七十八万八千円を議決していただきました。

(四)融資に関する件

(イ)住宅資金

予て申込を受けて配慮中のこの資金は国民金融公庫より貸付けに日りますので現在(十一月二十四日)で

承認 四十四人
審査中 三十二人

でありまして、前渡金(六割)はおおよそ十一月中に渡っている人もあります。

(ロ)農林漁業資金

風害による作業所、畜舎等も大きな被害を受けましたので村は早速その復旧のため標記の資金の融資を受けて、復旧を期したいと存じ県に対して二千三百三十万円の申請をいたしておきました。今一回つなぎ資金として申請額の五分の一にあたる四百六十万円だけ配布になりましたので災害の実体を調査し三農協さんと協議し、四協さんには八八六十五万円、大原さんには二十六万二千五百円を割り当てて皆さんの御希望に副えたいと努力中であります。

(ハ)天災法による資金

八月の集中豪雨による湖の堤外地は非常なる災害を受けましたので天災法の発動を希い早速県に申請しましたのですが未だ決定を見ませんので気をもんでいる処であります。

この一票が 県政をきめる 公明選挙で 明るい県政

新潟県知事選挙投票日 十二月七日

この金は被害(農作物)が三割以上五割迄は年利六分五厘、五割以上は三分五厘となっております。村としては、五割以上年利三分五厘にして貰うよう願っております。申請額は三百六十万円ですが今回つなぎ資金として七十万円配布になりましたので関係者二十四人の方へ割り当ていたしました。風害の場合も一様申請はしておりますが、要望の実現は相当困難であります折角努力中でありませぬ。

(ニ)自作農維持資金

自作農維持資金は金額も大きく且つ金利も五分であり、しかも長期でありますので、その融資を待ちまがれておりますが、未だ件がきまがりませんが、おおよそ明年三月頃には現金化されそうです。詳細は別項をご覧下さい。

二、供米の状況

今回の災害による稲作の被害は非常に大きくありますが、皆さんの稲作技術の向上によりまして被害を最少限度に止められましたことを喜んでおります。然しこの災害を反省して、品種選定、技術の研究に一層努めていただくたく存じます。

三、村に關係する工事

(一)瀧湯干拓に伴う工事

予て希望していた瀧湯の干拓工事も本村側の方に移ってきまして皆さんは、最近遠慮より曾根に通ずる県道が大変悪くなったことに気がつかれること存じますが、それは西山から大型トラックが土を運んで、新大通川の堤防を築くために起きた訳でございます。

(二)五ヶ村下江拡張工事

国営木山川排水機に通ずる水路が狭いため、折角の器械の効果を果たし得ざるため、その上流の水路の拡張を請願していただきました。昨年より実施に入り排水機場より国営排水路高山線上流地点までを間に両岸プロック護岸として工事を急いでおります。そしてその上流は旧木山川の瀬換まで両岸を鉄パイプに護岸することとし三十六年度中に完成すべく福田組の手で着々実施中であります。

(三)県営一号線二号線の拡張工事

五ヶ村下江の上流は県営工事と湖の排水を始め、三十八年、三十九年にかけて区劃整理に入り、三十九年から四十年にかけて整地を完了する予定であり、四十年春から一部耕作ができる予定だそうです。

(四)橋と排水機

遠藤部落の方が耕作上の便を考へ大通川に一橋増して貰いたく、その位置は八軒島からの四間道に止るが好処です。又今井地区の新木山川の合流点に二橋を新設して耕作に便したいと、二橋の増設を瀧湯干拓促進委員会より新川農業水利事業所に請願していただきました。今回要望通り計画にもりこまれました。

人事往來

新任(十一月一日付)
総務係員 書記補 小林百合子
書記補 (大字島方)

保健婦 入山 幸
(黒崎村出身)

昇格(十一月一日付)
書記 渡辺 務

昭和三十六年水稲品種別作付状況について

本年の稲作は八、五集中豪雨、第二室戸合風と相次災害にあり、大被害を受けた。中でも中晩生特に晩生は悪条件が重なり被害は甚大でありました。しかし早生については大体予想通りの収量をあげられたと思ひます。

Table with 2 main sections: '第一表 熟期別種別作付状況' and '第二表 基幹奨励品種普及状況'. It shows planting area and yield percentages for various rice varieties.

Table with 2 main sections: '第三表 基幹統一奨励品種' and 'その他の品種'. It details the performance and yield of specific rice varieties.

経済係

選挙

新潟県知事選挙の投票日は、十二月七日であります。必ず投票して下さいと希望します。

Table of election districts and candidates for the Niigata Prefecture Governor election.

選挙管理委員会委員及補充員について (総務係)

農業委員会選挙人名簿

申請書について
一、一反歩以上の農地につき耕作の業務を営む者。
二、同居の親族又はその配偶者。

食品衛生協会役員名簿

- List of members and officers of the Food Hygiene Association, including names like 会長 竹内幸作 and 副会長 河合善三郎.

国保だより

医療費緊急正実施についてお知らせいたします。被保険者では、(国民健康保険)ラジオ、テレビ新聞等が滞り止む事と思ひます。

印委員長 ○印委員長職務代理者(委員長、代理者は選挙管理委員会選挙)

寄生虫をなくしよう

今回十二月上旬より村内一般住民一せい検便を実施致します。お話をすするまでもなく、もはや皆さんは寄生虫の体にくら及ぼす被害の恐ろしさ、不愉快さは御存知のことです。再三くどくは言いますが、どうぞ特に小さな養育盛りの子供さんには必ず検便して下さい。

下の統計表の通り学童の半分は腹の虫をもっておりまます。このようなことでは頭の働きもにぶり成績も思わしくないのでしよう。又肥り盛りの体には大きな障害ともなりまます。

自作農維持創設資金について

これにつきましては、既に本年度に本村で借受けした総額は五八二万円で、この一般資金(土地取得その他)の枠は消化し終ったと見から十一月七日付で通達がありました。

へ来ないので、市町村への配分も今の処おおよそ今月上旬頃になるのではないかと申し上げます。

昭和三十六年度県下一斉 民生係 ねずみ駆除運動実施について

毎年行われて参りました「ねずみ」駆除運動が今年も左記の要領で実施することになりました。
一、駆除運動が今年も左記の要領で実施することになりました。
二、同屋の親族又はその配偶者。
三、耕作に従事する日数は、年間おおよそ六十日とする。

- List of items for the rat extermination campaign, including '袋(箱)入り固形五〇瓦につき一枚' and '原末(〇・五%)粉剤固末一枚'.

冬を暖く過ごしましよ

就任致しまして一カ月、まだ村内のことに關しては即の力を破つたばかりでみなさまの御指導を仰がなければならぬことばかりでございますが、皆様の健康の保持増進、病気の予防に皆様と共に考慮して行きたいと思っております。その点ではこれから多いに御利用下さいませようよろしくおねがい致します。今年もまた大雪が降るとか降らないとか毎年のことですが、何んとか暖かい冬を過ごすことものだとは誰しも考えることとす。それについて、三気ずいた点をお話して見ます。

寒さを防ぐには厚着をしたり激しく体を動かしたりすれば良いわけですが、たとえ家庭内であってもあまり厚着をしたのでは満足な仕事が出来ませんし体を激しく動かしたがつて室内を摂氏十六度から二十度くらいに生活するに最適な温度で温めれば一番良いわけですが、しかしこどもも子供は風の大人ことわざにもあります通り、大人、子供、老人と各々体内での働きが異りますので同じ室内であっても、暖房の調節が必要となります。したがって最終的な暖房は各人に適した衣服を加減すること

門松カード頒布のとりやめについて

木材の需要は年を遂げて増し、將來の需給事情が極めて憂慮されております。しかしながら森林資源をふやすというも、一朝一夕でできる性質のものではなく、当面の需要を充たすための増伐は結局將來に大きく響いてまいります。このような事情に鑑みまして本委員会では県内各機関団体と協力して、門松を自備して、若木を育てようとする中央の国土緑化推進委員会との呼び掛けに応じて、昭和二十六年から門松とクリスマスツリーの自備運動を提唱し、併せて昭和二十九年からは、大切な山の資源を無駄にしないようとの願いをこめて、門松に代るカードの印刷頒布を続けてまいりました。この

ことは新生活運動につながるものとして各層の共鳴をいただき、年月の門先に飾られ、今では特別の家庭を除いては殆んど門松を飾らないで新春を寿ぐようになりました。また一方ここ数年植林が急速に伸び、新しい造林地に若木がスタスタと育っているのは、國の將來のため心強きを感じさせるものがあります。このような状況から本委員会では、この運動が県民各位の御協力によって所期の成果をおさめ、その趣旨もひろく浸透したものと判断いたしました。一応こども門松カードの作製頒布をとりやめさせていただきますと存じます。

依って達成出来るように工夫いたします。つまり子供は大人より一枚くらい少なめに子供の厚着は抵抗力を弱め満気は子供と致し、逆に老人は子供より、二枚余計に着ないことには同じ室内で気持良く過ごすことは出来ません。また衣服でも厚いもの一枚着るより薄いものを重ねる方が衣服の間に暖かい空気がこもり保温率が高くなります。肝心なことはその時の温度に依って各人に適した衣服を手まめに加減することです。これが寒さにきたえる健康法の第一歩でもありませう。

皮膚の保護
冬寒いところで水仕事をするとヒビ、アカギレ、更にシモヤケが出来やすくなります。これを防ぐに

ヒビやアカギレと同じような原理で風邪をひくこともあります。インフルエンザのようにウイルスとよばれる細菌より小さい病原体によって風邪をひくこともあります。ノドや鼻の粘膜の表面にいても住んでいる化膿菌が寒さの刺激で粘膜が傷められ抵抗力が弱まったりするに乘じて一挙に中に入り込んで害を及ぼし風邪という症状になることも少なくありません。従ってこの予防は寒い日風の強い日インフルエンザの流行時に粘膜を丈夫にする意味で、ゴム手袋をし、ヒビやアカギレを防ぐと同様にマスクをシノドや鼻を保護します。また外から帰った時は必ずウガイをシノドのゴミを洗い落し

以上門松カードの果敢階での頒布をとりやめす趣意を申述べましたが、森林資源の愛護をねがうことに変わりはないものでありますから、今後とも自備運動については関係各位の御支援と御協力を切にお願いいたします次第であります。

昭和三十六年十一月

新潟県国土緑化推進委員会
 新潟県 役場
 新潟県 公民館
 新潟県 婦人会
 新潟県 青年会
 新潟県 連合青年会

は雑布がけや洗いのをする時に炊事用のゴムやビニールの手袋をし、出来るだけ水にぬれないように致します。

水にぬれた皮膚の表面からうばわれる体温は、はかりしれない程大きいため局所が冷え過ぎて栄養障害を起しヒビやアカギレやシモヤケの原因になります。また手指を急に湯めたところへ出した時、あついで冷めたところへ出した時、ぬれた手指は更に良く洗い水分を拭きとりワセリン、コールドクリームなどでよく摩擦しておきます。

風邪 邪
ヒビやアカギレと同じような原理で風邪をひくこともあります。インフルエンザのようにウイルスとよばれる細菌より小さい病原体によって風邪をひくこともあります。ノドや鼻の粘膜の表面にいても住んでいる化膿菌が寒さの刺激で粘膜が傷められ抵抗力が弱まったりするに乘じて一挙に中に入り込んで害を及ぼし風邪という症状になることも少なくありません。従ってこの予防は寒い日風の強い日インフルエンザの流行時に粘膜を丈夫にする意味で、ゴム手袋をし、ヒビやアカギレを防ぐと同様にマスクをシノドや鼻を保護します。また外から帰った時は必ずウガイをシノドのゴミを洗い落し

風邪がらいつと誰でも考えますが、みなさんはこの風邪で保険料を最も多く使っているといえます。今年こそは風邪をひかないでと思つたらこの身近なことから実行し、健康の開始に役立てて下さい。

開巻の
日本人は、とかく米食をたくさんとり勝ちですが寒冷時の食物として熱量の高い脂肪が最適であるとされています。特に温度の低い住宅に住んでいる日本人の冬期生活には脂肪は大切な食べ物だと思つて、一例をあげますと、エスキモー人は全熱量の約半分を脂肪にたよっており、蛋白質を日本人の約四倍も多く食べているそうです。蛋白質には特別の働きがあり、ある程度以上食べるとそれを直ぐそのままに変わり、体を冷めます。冬スキネが歓迎されるのは脂肪や蛋白質の多い食物が耐寒力をつよめるのに役立つ事を体が経験的にこれを知っているからだと思います。出来るだけ魚肉類を多く食べた野菜であればビタミンの破壊率も少なくおすすめです。

ビタミンのうち冬特に気をつけたのはビタミンCとDです。Cが不足すると血管が弱まりDが不足すると骨の発育が悪くなります。以上みなさんが良く御存知のことばかりですが今年の冬はこれらのことを心して出来るだけ暖かい冬を過ごしましよ。

(入山保健婦)

あとがき
「役場たよ」も二年目を迎えました。今年もあと僅かに一月が過ぎました。今年も大雪、集中豪雨、第二室戸台風と相次いで起り、精神的、物質的に大きな打撃を受けました。しかしこの災害に対して皆さん雄々しく立上って御働きのことを思い起して下さい。この大きな自然の試練を乗り越えて、やがて来る昭和三十七年を復興飛躍するためお互いしっかりと手をつないで努力しましよ。だんだん寒さもきびしくなるので皆さん風邪にお気を付けて下さい。(編集係)